

シーズ分野;臨床医学 消化器内科学

研究シーズ;慢性膵炎の診断に有効なセクレチン

— 国産のセクレチンが入手困難である —



滋賀医科大学 臨床教育講座
准教授 辻 喜久

「求む!国産セクレチンの開発」

■関連文献・特許

- ・J Gastroenterol. 2017 Apr 3.
- ・Immunity. 2012 Aug 24;37(2):326-38.

■研究概要

慢性膵炎は年々増加してきており、その原因は多様である。慢性膵炎は、生活の質を大きく低下させることが知られ、いわゆる八大疾病保障付き住宅ローンにも取り上げられている。疾患としては比較的よく知られているが、その診断は容易ではない。

1980年代後半、消化管ホルモンの一つであるセクレチンを用いた診断基準が確立した。セクレチンは膵臓からの重炭酸塩と水の分泌を促すので、セクレチンを投与して重炭酸塩と水の分泌が生じれば膵機能は保たれ、一方、分泌が生じなければ膵機能が低下していると診断する。

これにより、消化吸收障害を示す患者の原因が、膵臓か膵外か鑑別し治療戦略が立てられてきたが、2003年12月に本邦においてのみセクレチンが販売中止となり、本邦の慢性膵炎診断は世界に比べ大きく遅れることとなった。

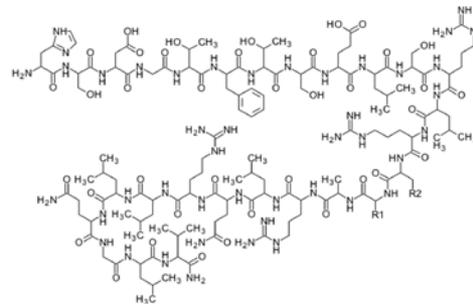
■応用展開・共同研究テーマ例

- ・セクレチンの臨床研究・開発

■研究者からのお願い(ニーズ)

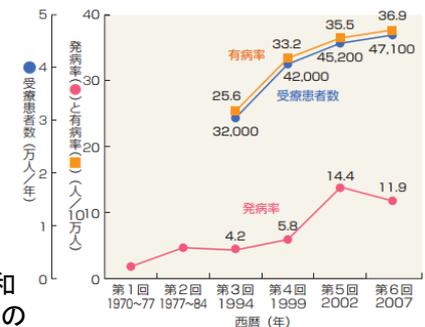
- ・上記テーマを進めるため、製薬企業と共同研究がしたい。
- ・セクレチンを一般臨床ベースで使用できるようにしたい。

セクレチンの構造式と役割



- ・アミノ酸27残基のペプチドである。
- ・胃から送られてきた酸性の食物残渣を中和するために肝臓、膵、臓、十二指腸腺からの重炭酸塩の分泌を亢進し、それと同時にガストリンや胃液の分泌を抑制する。
- ・また、また胆汁分泌を促すためにコレシトキニンの効果を強める。

慢性膵炎患者の受療者数、有病率、新規発症患者数の推移



旧厚生省および厚生省
特定疾患難治性膵疾患
調査研究班慢性膵炎全
国調査より

お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail;hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp